戦略3 拠点創造プロジェクト

1 都市拠点がにぎわうまちづくり



令和4年度(2022年度)事務事業評価シート(重点戦略事業) 評価対象年度 R 3 (2021)年度 1 事業概要(Plan) 4 指標の推移(Check①) 指標名 単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025) 指標の説明 目標 実績

種別

分類

指標1単位当たりコスト(千円)

6 今後の方向性(Action)

□ 対象の再設定

達成率

事	業名	中心都市	ī拠,	点・生活拠点で			ード	3	- 1	- 1	-	01				
SI	DGs	8 ment		9 Executive	TI INCOME.				事業種別		国土	強靭化地	地域計画	0		
SI	<i>J</i>	îÍ .			Aldo			=	P * 1'E		まち	まち・ひと・しごと創生総合戦				
		長期成果	₽ ∟	也域経済が活性		かんかん	フナナ	ートセン								
求め	る成果	一一曲			活気に満ちた					- Z						
					こ都市機能が集			1/\	B 710 9	⊘ ₀						
国土弦	鎖羽化計画			377711 13777 37213	-	12.2			-							
リスク	フシナリオ	_			-				-							
事	業期間	H28 (20	016)年度 ~ R7	7(2025)年度	会計		計一	般	款	7	項	4	\blacksquare	1	
担	当課	都市計	画調	主管課等長	小島 健太郎	予算科目 会		計		款		項		Ħ		
関	係課							計		款		項		\blacksquare		
					において地域物 設を誘導する								D活性	化を	図	
	対象									3区均	ţ					
	手法	■ 直営		□ 全部委				助金等		協			その			
	・都市計画決定による土地利用規制誘導の検討・実施【R3(2021)年度~R7(2025)年度】 ・中心都市拠点づくりに向けた方向性等の検討【R4(2022)年度~R7(2025)年度】															
2	取組出	t況(Doc	1))													
	-DV1122 D	・市役所	周说		の決定について	て千葉県	都市計	画課と	事前協	3議を	行い	、当記	亥都市	計画	決	
R	3年度			異存がない旨回 ^{終構とせに白せ}]答を得た。 :駅周辺まちづ [、]	/ M 金加2余	会を宝	□協し. 目	10 国 27	1ഗ≠	ちあ	スキに	10	咨诟	t h	
取約	组状況				今後の駅周辺に								-0.9	"吳"	(C	
			育	が年度評価に伴	東度評価に伴う改善項目						その他改善項目					
么	善策		- 10		2 312 212						,,_,					
取約	组状況															
		(5.0)												(-	T)	
3		ト (Do②) 区分 R3 (2021) 年度当初予算 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度当初予					帝平2013年	R5 (2023)	午度計	■ D6	(2024)	年度計画	D7 (2	(千)		
車業	替計	<u> </u>	Α	110 (2021) 年度当前了异	113 (2021) 年長次昇		.850	110 (2023)	4/2011	■ 110 ·	(2024)	牛皮 司巴	1117 (2	023) 4	F/SC-11 (III)	
*	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	主度任用職員等					,000									
			狂質													
	国県支															
財源	財 受益者		В													
内	地方債	Į														
訳		3														
		掠		0	0	9	,850		()		0			0	
	rh O	人数		0.10	0.10		1.00		1.00)		1.00		1	.00	
正職	東	人件費	С	679	679	6	.995	6	5.995	5	6	.995		6.9	995	

					目標													
(実績													
2	種別	分類			達成率	-	-	-		-	-							
	指標1単位	立当たりコ	スト((千円	3)	-	-	-		-	-	コスト効率	_					
5	事業の評	価(Chec	k(2))															
	項目				評価					評価の理由・課題								
	事業のニーズ・実施意義				高まっている						市の活性化には、市の中心的な拠点であ							
必要	市が関与する必要性				高まっている								?であり、駅馬 [様々な都市機					
安性	要 市民生活・地域社会への影響度				大きい						能を誘導していくことが必要である。							
	実施主体				市が実施主体となる必要がある													
	対象の範囲				適切である								づくりに向け					
有効	取組の内	容		E	目標の達成に向けた取組を行っている								土地利用規制誘 対など目標の達					
処性	達成度			E	目標に近づいている					成に向けた取組を進めている。								
	上位の施	策・目的^	の寄	5 t	施策の実現に寄与している													
	実施手法	• 運営主体	Z	ì	適切に設定されている					多額の予算を要する都市計画事業では く、土地利用規制の変更を通じた民間								
効率				Ž	求める	ことがで	きない						t通しに氏向事 が図られてお					
坐性	事業・サ	・ービスのか	〈準	=	コストを	E抑え適切	な水準で進	められてい	る		効率的であ							
	業務プロセス(進め方・手続き)			E) j	適切に進められている													
ź	施策内 会議での 意見等 産業振興課や駅周 く必要がある。				活性化	プロジェ	クトチー	ムをはじ	め、	様々を	な課と連携	もして事業を	E推進してい					

コスト効率

年度)

月)

年

総コストD=A+C D 679 679 16,845 6,995 6,995 6,995 うち人件費(正職員+会計年度) 679 679 6,995 6,995 6,995 6,995 市民1人コストD/人口(円) 10.83 10.83 268.55 111,52 111.52 受益者負担率B/D(%)

年 □ 事業・サービス水準の見直し (実施時期: 月) 年 □ 他事業との連携・統合 (実施時期: 月) □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) 年 事業の (実施時期: 月) □ 民間委託を導入・拡大 年 方向性 (実施時期: 月) □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: 年 月) 年 □ 受益者負担の見直し (実施時期: 月) □ 特定財源の見直し 年 (実施時期: 月) □ その他 年 月) (実施時期: 改善内容等 改善により期 待される効果

□ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □ 休廃止 (年度) □ 終了 (

(実施時期:

事業コード 3 - 1 - 1 - 01

令和4年度(2022年度)事務事業評価シート(重点戦略事業)

1 事業概要(Plan) 事業名 にぎわいづくり支援事業 コード 3 - 1 - 1 - 02 国土強靭化地域計画 SDGs 事業種別 8 111 まち・ひと・しごと創生総合戦略 地域経済が活性化する。 長期成果 ⇒人が行き交う活気に満ちた拠点があるまちになる。 求める成果 → 中期成果 駅周辺に雇用やにぎわいが生まれ、昼間人口が増加する。 ■ 短期成果 駅周辺地域の活性化に向けた取組が展開される。 国土強靭化計画 リスクシナリオ ~ R7(2025)年度 事業期間 R3(2021)年度 会計 款 項 担当課 秘書課 主管課等長 齊藤祐二 予算科目 会計 款 項 関係課 会計 款 項 \blacksquare 市民等が市内で行うイベントや、市にゆかりのある方々を対象としたまちの話題について、「地 事業内容 域情報サイトしろいまっち」を中心とした情報発信ツールを活用した情報発信の支援を行う。 市民、市民団体、事業者等 対象 手法 ■ 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等 ■ 協働 □ その他 •調査、検討【R3(2021)年度】 計画期間中 ・イベント等の情報発信【R3(2021)年度~R7(2025)年度】 の主な取組 2 取組状況 (Do1) にぎわいづくり支援事業に係る調査検討 ○情報発信の対象や情報発信の方法など事業内容の検討 R3年度 ○白井市にぎわいづくり支援事業実施要項の制定 取組状況 前年度評価に伴う改善項目 その他改善項目 改善策 取組状況 3 コスト (Do2) (千円) R3 (2021) 年度当初予算 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度当初予算 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R7 (2025) 年度計画 区分 事業費計 うち会計年度仟用職員等経費 国県支出金 財 受益者負担 В 源 地方債 内 訳 その他 一般財源 0 0 00 0 人数 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 正職員 人件費 350 350 350 350 С 340 340 340 340 350 350 350 350 総コストD=A+C D うち人件費(正職員+会計年度) 340 340 350 350 350 350 5.41 5.41 5.58 5.58 5.58 市民1人コストD/人口(円) 受益者負担率B/D(%)

事業コード 3 - 1 - 1 - 02

4	指標の推移	(Check(1))
-	1日1示しノ1圧1分	COLIECTO

4	指標の推移(Ch	heck①)								
	指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明
	情報を発信した件	土光ケ	件	目標	-	15	30	45	60	イベント及び	びまちの話題
1)				実績	-					の情報を発信	
U				達成率	-	1	-	-	-	(累計)	
	指標1単位当たり	-	-	_	_	-	コスト効率	_			
				目標							
2				実績							
۷	種別 分類			達成率	-	-	-	_	-		
	指標1単位当たり	-	-	-	-	-	コスト効率	-			

評価対象年度

R 3 (2021)年度

5 事業の評価 (Check2)

	項目	評価	評価の理由・課題					
	事業のニーズ・実施意義	高まっている	駅周辺地域の活性化、にぎわいを創出す					
必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	るためには、市民等が市内で行うイベントや、まちの話題について情報発信ツー					
性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	ルを活用した情報発信の支援を行う必要					
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	がある。					
	対象の範囲	適切である	「情報集約発信支援事業」では、委託事業者 が市内を巡回し、市民等に直接取材を行って					
有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	いるが、委託事業者任せにすることなく、市					
性	達成度	目標を達成している	としても市民等から直接、情報提供をいただ く仕組みを整備した。(にぎわいづくり支援					
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	事業実施要項)					
	実施手法•運営主体	適切に設定されている	「情報集約発信支援事業」と「にぎわい					
効率	受益者負担	求めることができない	づくり支援事業」を連携することで、情報の収集やサイトへのアクセス数など情					
性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	報発信を行ううえで相乗効果が期待でき					
	業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	ేవే.					
	施策内 Q他事業との連携は。							

|A本事業は市民等が駅周辺等で実施するイベントなどの支援(周知)に特化したものであり、具体的な

連携は今のところ考えていないが、市民等が活動する場について検討するよう、他事業に対して働きか

意見等 ける必要性を感じる。 6 今後の方向性 (Action)

施策内

会議での

		改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
		□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	L	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	–	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
		口 その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等						
改善により期 待される効果						

令和4年度(2022年度)事務事業評価シート(重点戦略事業)

4	中₩₩	בותר 要(Plan		(2022	乙午段/争恋	が事表評価と	アート (里	、黑果	御争未り					
1	事業性	駅周辺地		中世			-	K	3 - 1	- 1 - 03				
₹	来石	歌问处地	以心性で	争耒		:		コード						
SI	DGs	8 55522	9 😭		11		事業		国土強靭化地	対計画 しごと創生総合戦略				
			ttht或級	※が活性	主化する。	i								
	- 40	長期成果			ェルッる。 5活気に満ちた	拠点があるまれ	うになる。							
求め	る成果	▶中期			間やにぎわい			する。						
		L 5	豆期成果	駅周辺で	で市民主体のに	ぎわいが創出	される。							
	強靭化計画				-		-	-						
	クシナリオ				-			-						
	業期間	R3(202		L	7(2025)年度	-	計	款	項	目				
担	当課	産業振り	主	管課等長	金井勉	予算科目	計	款	項	目				
関	係課					ź	計	款	項					
事	業内容				, プロジェクトラ を行う。その後、									
	対象	白井駅、			•		2 2 1 0 febr			= - 11				
:	手法	□直営		全部委	託 ロ 一部 トチーム (PT) に			■協	B働 🗆	その他				
	期間中にな取組													
2	2 取組状況 (Do①)													
	3年度 組状況	白井駅白井駅	、西白井 •西白井	駅周辺地 駅副駅名	会(11回) b権者や民間事 3称の設定、副 ソグの実施			(a)						
			前年度評価に伴う改善項目											
-	Z善策 組状況													
3		- (Do2)								(千円)				
		区分		1)年度当初予算	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度当初予算	R5 (2023) 年度	計画 R6	(2024) 年度計画	R7 (2025) 年度計画				
事身 :	養計		A											
	うち会計	年度任用職員等経	費											
	医県支	艺出金												
財	受益者	新負担 I	В											
源内	地方債	Ę												
訳	その化	Ь												
	一般則	才源		0	0	0		0	0	0				
		人数		0.40	0.40	1.00	1.0	00	1.00	1.00				
止肺	正職員	人件費(С	2,717	2,717	6,995	6,99	95	6,995	6,995				
総二	コスト[D=A+C I	D	2,717	2,717	6,995	6,99) 5	6,995	6,995				
うちん	人件費(Î	E職員+会計年度	()	2,717	2,717	6,995	6,99	95	6,995	6,995				
市民	1人コス	.トD/人口 (円)	43.31	43,31	111.52	111.5	52	111.52					
								_						

4 指標の推移 (Check①)

評価対象年度	R 3 (2021)年度
--------	--------------

4	指標の推移(Check⑴)										
	指標名	単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明		
	外部組織等との意見交換		目標	6	6	6	6	6	日前の神奈との辛日六	+/2.	
1)	会等回数		実績	34					外部組織等との意見交 等回数	揆	
()	種別 活動指標 分類		達成率	566.7	-	-	ı	-	3 2 2		
	指標1単位当たりコスト	(千円	3)	79.9	-	_	ı	1	コスト効率 -		
	駅周辺ビジョンの確定		目標					確定			
2			実績								
(種別 成果指標 分類		達成率	1	_	_	-	-			
	指標1単位当たりコスト	(千円	3)	ı	-	-	1	1	コスト効率 -		

5 事業の評価 (Check2)

)	事業の評価 (Check2)							
		項目	評価	評価の理由・課題					
		事業のニーズ・実施意義	高まっている	中心都市拠点と位置付けている白井駅 辺や生活拠点として位置付けている西					
	必要	市が関与する必要性	高まっている	対象周辺の活性化のためには、地域特性					
1	生	市民生活・地域社会への影響度	大きい	に合わせたにぎわいの創出は必須である					
		実施主体	市が実施主体となる必要がある	ため、当該事業の必要性は高い。					
		対象の範囲	適切である	NT事業の街開きから40年経過し、公共的記念者だけ、 森内海の海原化など					
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	共施設の老朽化、商店街の陳腐化など、 魅力やにぎわいを失っている当該地域に					
	生	達成度	目標に近づいている	おいて、新たに必要となる都市機能の調					
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	査はビジョン策定において有効である。 					
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	ビジョン策定のため、PTや外部組織等との協議や意見交換を行い、にぎわい創出の					
	効率	受益者負担	求めることができない	ため新たに必要となる都市機能の調査を、					
	生生	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	社会実験(トライアルサウンディング)により実施しており効率的である。					
		業務プロセス(進め方・手続き)	改善の余地がある	みり天地してのり効率的にある。					
		地域特性に合わせた	5駅周辺地域の活性化に向けて、中心者	昭市拠占・生活拠占づくの事業や他課と					

施策内 会議での 意見等

地域特性に合わせた駅周辺地域の活性化に向けて、中心都市拠点・生活拠点づくり事業や他課とも連携し進めてほしい

6 今後の方向性(Action)

0 7 (507/31)		() (0.00.1)				
	Ō	改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
		□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	L	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等						
改善により期						
待される効果						

令和4年度(2022年度)事務事業評価シート(重点戦略事業)

1 事業概	要(Plan)														
事業名	工業団地ア	クセス)	首路整備	事業						- Ľ	3	- 1	- 2	2 -	01
SDGs	8 water	9 2000	egraph A S					車業	美種 另	0	国土	強靭化均	也域計	画	
SDGS	ALL		b			į		#2	长作出力	J	まち	・ひと・	しごと	:創生総	合戦略
				生化する。											
求める成果	区别风木	ふるえ	る 。												
水のる水木	●● 中期成果 工業団地の競争力が高まり、産業機能が強化する。														
	■ 短期成果 白井工業団地のアクセス性が向上する。														
国土強靭化計画	2-1 【物資	資・ 燃料	斗】	2-	-2 救.	助・救急【	重】		5-	1 隻	₩造•	物流			
リスクシナリオ	5-4 交通網 7-2 交通障害 -														
事業期間	H20(2008	3)年度	~ F	7(2025	5)年度		会計	一般	一般素		7	項	2	B	2
担当課	道路課	主管	言課等長	鈴木	教之	予算科目	会計					項			
関係課							会計			款		項			
事業内容	産業拠点 能の強化を		白井工第	美団地への)アクt	2ス性を向_	Lさせる	ること	によ	り、	白井	工業[団地 0	D産業	機
対象															
手法	回 直営		全部委	託	一部	委託 🗆	補助金	等		協信	動		その	D他	
計画期間中 の主な取組	白井工業団地と国道16号を結ぶ新たな大型車対応の道路を整備(市道00-136号線の拡幅整備) する。														
ク 取組状	取組状況(Doff)														

R3年度 取組状況	用地買収:911.37㎡ (総取得面積:14223.99㎡ 総取 【工事概要】道路用地盛土撤去工 V=8.360㎡ 道路本体工事 延長 L=220.8m (総整備延 ※ただし、繰越明許のため、工事完成は、令和4(2022)を R4(2022).9.30迄)	E長:296.9m 総整備率:14.1%)
	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目
改善策 取組状況	用地取得が困難なところについては、令和4年 (2022)度に暫定供用等の検討を行う。	交付金決定額に基づき、整備スケジュールを見 直す。

(千円) コスト (Do②)

3 3 1 (000)								
区分		R3(2021)年度当初予算	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度当初予算	R5(2023)年度計画	R6(2024)年度計画	R7 (2025) 年度計画	
事業費計 A		398,126	66,927	114,552	240,226			
うち会計	年度任用職員等経費							
区県国	支出金	134,185	9,130	19,675	95,480			
受益者	音負担 B							
地方債		217,900	30,700	69,000	128,800			
その他								
一般財源		46,041	27,097	25,877	15,946	0	0	
#8	人数	2.05	2.05	2.05	2.05			
W IN	人件費 C	13,924	13,924	14,340	14,340	0	0	
総コストD=A+C D うち人件費(正職員+会計年度)		412,050	80,851	128,892	254,566	0	0	
		13,924	13,924	14,340	14,340	0	0	
市民1人コストD/人口(F 受益者負担率B/D(6,569.04	1,288.95	2,054.84	4,058.38	0.00		
	き (表) また (表) また (また) また	区分 養費計 A 55会計年度任用職員等経費 国県支出金 受益者負担 B 地方債 その他 一般財源 人数 人件費 C コストD=A+C D 体件費 (正職員+会計年度)	区分 R8 (2021) 年度当初予算 養費計 A 398,126 55会計年度任用職員等経費 国県支出金 134,185 受益者負担 B 地方債 217,900 その他 一般財源 46,041 人数 2.05 人件費 C 13,924 コストD=A+C D 412,050 株件費 (正職員+会計年度) 13,924 1人コストD/人口 (円) 6,569,04	区分 R3 (2021) 年度時期 R3 (2021) 年度映算 養費計 A 398,126 66,927 55会計年度任用職員等経費 国県支出金 134,185 9,130 受益者負担 B 217,900 30,700 その他 27,097 人数 2.05 2.05 人件費 C 13,924 13,924 1人コストD/人口 (円) 6,569,04 1,288,95	区分 R3 (2021) 年度当前予算 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度共同 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度決員 R4 (2022) 年度当前予算 R3 (2021) 年度共同 R3 (2021) 年	区分 R3 (2021) 年度当初手 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度当初手 R5 (2023) 年度計画 R5 (2023) 年度	区分 R3 (2021) 年度当初予算 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度当前 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R5 (2024) 年度計画 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R5 (2024) 年度計画 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R5 (2024) 年度計画 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R5 (2024) 年度計画 R5 (2023) 年度計画 R6 (2024) 年度計画 R5 (2024) 年度注意 R5 (2024) 年度 R5 (2024)	

事業コード 3 - 1 - 2 - 01

指標の堆移 (Chook①)

4	指標の推移(Check①)									
	指標名 単位 区流			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明
1	用地取得率	%	目標	100	100	100	100	100	即伊汝子珪	/引表现得去
	MBW 19-	/6	実績	95.7					/計画取得面	
	種別 成果指標 分類 【国】			95.7	-	-	-	_		
	指標1単位当たりコスト	844.8	ı	-	-	-	コスト効率	-		
	整備率		目標	53	53	100	100	100	本欠 /++ >→+ >→+ □ & 7	
2	- 正明学	%	実績	3.6					整備済追路域 路延長	延長/計画道
	種別 成果指標 分類 【国		達成率	6.9	-	-	-	1		
	指標1単位当たりコスト(千円)			22,310.9	-	-	-	-	コスト効率	-

評価対象年度 R 3 (2021)年度

5 事業の評価 (Check②)

	\circ) 事業の評価(Unecke)									
		項目	評価	評価の理由・課題							
		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	西白井駅圏から工業団地までの円滑な交換の流れた日本の							
必要	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	通の流れを目的とした道路ネットワーク の形成を図り、工業団地への物流を増加							
	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	させ、産業を活性化させる必要がある。							
		実施主体	市が実施主体となる必要がある								
		対象の範囲	適切である	未相続共有地の取得等交渉業務の調査結果等から、一部の用地買収が困難である							
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	未等がら、一部の用地負収が困難である と共に、交付金の交付額が要望額を下							
	性	達成度	目標に近づいていない	回ったことにより、目標に近づいてい							
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	[6] ₀							
Ī		実施手法•運営主体	適切に設定されている	用地買収が困難と判断されたため、暫定							
	効率	受益者負担	求めることができない	形による早期供用開始に向け、事業を推 進する。							
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている								
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている								
	施策内 会議での 用地取得が困難な状況から、整備スケジュールの見直しを検討する必要がある。 スケジュール変更する場合、国土強靭化地域計画の見直しも検討する必要がある。										

6 今後の方向性 (Action)

会議での

意見等

ひ フ俊の万円	JIE (ACTOIT)				
	■ 改善して継続 🗆 現状のまま継続 🗆	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
	□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
	□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
	□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の	■ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:	R5 (2023)	年 3	3 月)
方向性	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
	□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
	口その他	(実施時期:		年	月)
	暫定供用に向けての設計修正業務等を行い、	整備スケジュールの見	直しを行う。		
改善内容等					
0001304					
	######################################	<u> </u>	(
74半に ト10世	暫定的であっても供用開始により、一定の物	『流効率は同上し、工業	団地の活性化が	か図ら	れる。
改善により期					
待される効果					

令和4年度(2022年度)事務事業評価シート(重点戦略事業) 1 事業概要(Plan) 事業名 工業専用地域振興事業 コード 3 - 1 - 2 - 02 国土強靭化地域計画 SDGs 事業種別 111 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略 長期成果地域経済が活性化する。 ⇒人が行き交う活気に満ちた拠点があるまちになる。

→ 中期成果 工業団地の競争力が高まり、産業機能が強化する。 □ 短期成果 白井工業団地の土地利用が活性化する。

国土強靭化計画 リスクシナリオ H28(2016)年度 ~ R7(2025)年度 事業期間 会計 一般 担当課 産業振興課 主管課等長 金井 勉 予算科目 会計

会計 関係課 款 項 \blacksquare 都市計画課 道路課 **用途地域の変更及び地区計画の決定により購買施設や飲食店などの誘導が可能となっているため、どのような活用ができるか工業団地協議会を通じて意見** 事業内容 交換を行う。また、工業団地の活性化を図るため、構想道路(木・十余一線)についても、「道路ネットワーク事業」の進捗状況にあわせて意見交換を行

款 6 項

款

その他改善項目

項

□ その他

対象 工業専用地域 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等 ■ 協働 手法 □ 直営 ・用途地域の変更及び地区計画の決定後の活用方法についての意見交換

計画期間中 ・構想道路(木・十余一線)についての意見交換 の主な取組

2 取組状況 (Do①)

求める成果

白井工業団地協議会との意見交換 • 白井工業団地内インフラの維持管理(舗装修繕、除草、側溝清掃)について、包括管理委託 R3年度 (エリアマネジメント) 導入の検討 取組状況 ・工業団地の土地利用に関する検討

前年度評価に伴う改善項目 改善策都市計画変更による土地利用規制変更の効果を 取組状況 最大限発揮するため、後期は産業振興課におい て工業団地の活性化に向けた事業に取り組む。

3 コスト (Do2) (千円)

J	^							(111)
区分			R3(2021)年度当初予算	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度当初予算	R5 (2023) 年度計画	R6(2024)年度計画	R7 (2025) 年度計画
事業	事業費計 🗡				135			
7	うち会計	年度任用職員等経費						
	国県支	支出金						
財	受益	背負担 B						
源内								
訳								
	一般財源		0	0	135	0	0	0
正贈	# =	人数	0.10	0.10	0.50	0.50	0.50	0.50
11_16	W IN	人件費 C	679	679	3,498	3,498	3,498	3,498
総二	総コストD=A+C D		679	679	3,633	3,498	3,498	3,498
うちん	うち人件費(正職員+会計年度)		679	679	3,498	3,498	3,498	3,498
市民	1人コス	ストD/人口 (円)	10.83	10.83	57.91	55.76	55.76	
受益	益者負担	担率B/D (%)						

事業コード 3 - 1 - 2 - 02

評価対象年度 R 3 (2021)年度

4	4 指標の推移(Check①)								
	指標名	単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明
			目標						
1			実績						
	種別 分類	達成率	_	-	-	-	-		
	指標1単位当たり	コスト(千円	3)	_	ı	-	ı	_	コスト効率 -
			目標						
2			実績						
	種別 分数	Ą	達成率	_	-	-	-	_	
	指標1単位当たり	コスト(千円	3)	-	_	-	-	_	コスト効率 -

5	事業の評価(Check②)					
	項目	評価	評価の理由・課題			
	事業のニーズ・実施意義	高まっている	産業拠点である白井工業団地の就業環境の改善及び活性化のためには、白井工業団地協議			
必要		計画時と変わらない	会から毎年要望書として提出されているイン			
性		大きい	フラ関係の課題解決を併せて行うことが必要 であり、その意味でも当該事業の必要性は高			
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	<i>ل</i> ١٠,			
	対象の範囲	適切である	白井工業団地は市街化区域でありながら、都 市基盤の整備・維持管理が十分になされてい			
有交		目標の達成に向けた取組を行っている	ないことが企業の進出を阻害しているため、			
火性		目標に近づいている	産業振興の側面から用地の整序や包括管理委			
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	ことは有効である。			
	実施手法•運営主体	適切に設定されている	白井工業団地協議会との意見交換を実施			
交巫		求めることができない	し、工業団地協議会と協力した包括管理 委託等の検討は地域経済循環の考えから			
性		コストを抑え適切な水準で進められている	も効率的である。			
	業務プロセス(進め方・手続き)	改善の余地がある				
	古世の討名を 町が	古世子とするのか年日古世子とするの	りか ちていけ声声か 今然の古科を控			

|事業の対象を、既存事業者とするのか新規事業者とするのか、あるいは両方か、今後の方針を検 施策内 討すべき 会議での 意見等

6 今後の方向性 (Action)

		改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
		□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	حا	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		ロ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等						
改善により期						
待される効果						